

Press release

Tokyo (Japan), May 8, 2025

MAHLE、「人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」に出展

- 日本市場における真の Tier 1 サプライヤーとしての戦略ソリューション発信
- 「電動化」「熱管理」「高効率で持続可能な内燃エンジン」の3つの戦略分野に焦点を当てた最新の製品を展示
- 「日本のお客様の国内外すべてのニーズに応え続けることが当社の使命」
柳生直樹（MAHLE グループ 東アジア営業部門最高責任者）
- 同時開催の「2025 年春季大会学術講演会」に登壇決定

MAHLE（マーレ）は、2025 年 5 月 21 日（水）～23 日（金）の3日間、パシフィコ横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA（ノース会場 #N15）」に今年も出展します。

「自動車業界の重要イベントである当展示会に、MAHLE は今回で 14 年連続の出展となります。これは当社の日本市場に対する確固たるコミットメントの表れです。当社は、開発から生産まで日本のお客様の国内外すべてのニーズに応え続けることを使命としています」と、MAHLE グループ 東アジア営業部門最高責任者の柳生直樹は述べています。

今年は「電動化」、「熱管理」、「高効率で持続可能な内燃エンジン」の3つの戦略的分野に焦点を当て、最新の製品を展示いたします。

また、5 月 21 日に同時開催の「2025 年春季大会学術講演会」では、「バイオニックデザインを使った BEV における熱マネ効率向上技術」と題して MAHLE の講演登壇も決定しています。

今回の展示での注目は、「MAHLE SCT（Superior Continuous Torque）電動モーター」、「Water Jacket」、「Thermal Management Module」、そして「MAHLE hydrogen power cell unit（PCU）」です。「MAHLE SCT 電動モーター」は、圧倒的な小型化、軽量化、そして高効率化を実現しています。こうした性能向上を可能にしたのが、革新的な一体型油冷システムです。このシステム

の採用で、モーターの信頼性と耐久性が向上するだけでなく、車両システム全体で廃熱を利用することが可能になります。

インバータ冷却用「Water Jacket」は、絶縁性樹脂の採用で軽量化を実現し、バスバーを一体成形することで製造コストの大幅削減にも成功しています。バッテリー式電気自動車（BEV）の場合、熱管理とは車内の空調だけを指すのではなく、バッテリーの温度管理やパワーエレクトロニクス冷却など、その対象には多くのコンポーネントが含まれるため、システムが複雑化します。MAHLE が開発する「Thermal Management Module」は、こうした熱管理に関わるコンポーネントを統合、コンパクトにパッケージングすることで配管を不要とし、断熱性と気密性を最大限向上します。

水素は、脱炭素化を実現する大きな可能性に満ちた再生可能燃料です。特に大型商用車では、電動駆動よりもむしろ水素エンジンに有利な点が多いと考えられます。MAHLE は CNG やエタノールなどの燃料で培った技術を活かし、水素エンジンの開発を支援しています。

MAHLE は、テクノロジーの多様性をモビリティの脱炭素化を加速させるための鍵ととらえ、バッテリーエレクトリックドライブ、水素エンジン、燃料電池車、再生可能燃料に関するコンポーネントとシステム専門知識を幅広く提供します。

「2025 年春季大会学術講演」では、マーレベアージャパン Head of Product Development Pre-Development/System の土屋穂高が、BEV における利便性向上に際し、ファンによる NV の改善という課題を、自然界の形状にヒントを得たバイオニックデザインという手法を用い解決した点などについて講演します。

MAHLE には日本市場で 50 年以上の歴史と幅広い技術による実績があります。特に日本の MAHLE は、日本のお客さまのグローバルな事業を支えるために、お客さまの国内外の事業を支えるアジア地域統括本部として中心的役割を果たしています。日本のお客さまの期待に応える「真の Tier 1 サプライヤー」として、初期の研究開発フェーズから量産準備まで、MAHLE は一貫した品質レベルでお客さまをグローバルにサポートすることを長年にわたり戦略として掲げています。

【出展概要】

名称 : 人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION 2025 YOKOHAMA
主催 : 公益社団法人自動車技術会
会期／会場 : パシフィコ横浜
2025 年 5 月 21 日 (水) - 23 日 (金)
10:00 - 18:00 (23 日は 9:00 - 16:00)

MAHLE ブース：ノース会場 #N15

【同時開催：2025 年春季大会学術講演会】

■ MAHLE 登壇 講演情報

主題 : バイオニックデザインを使った BEV における熱マネ効率向上技術
セッション名 : 最新の振動騒音・音質技術 III
講演日時 : 5 月 21 日 (水) 16:15- (予定)
講演会場 : パシフィコ横浜 G403
講演者 : 土屋穂高
マーレベアージャパン Head of Product Development Pre-Development/System

報道関係者の皆さまへ：本プレスリリースと関連画像は「MAHLE Newsroom」

(<https://newsroom.mahle.com/press/en/>) でご覧いただけます。

Copyright: MAHLE GmbH



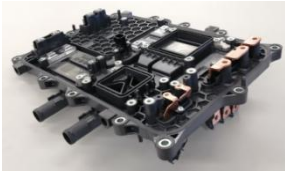
MAHLE ブース：
ノース会場 #N15



MAHLE SCT：トラクションモータ市場には無い半永久的に高性能を維持できるモーターです。



Thermal Management Module: 関連部品をコンパクトに統合。配管をなくし熱ロスや漏れを抑えました。



Water Jacket：インバータ冷却水回路を内蔵した軽量絶縁樹脂筐体。バスバーやターミナル NUT を一体成形し、コスト低減と導電部冷却性能を



MAHLE hydrogen power cell unit (PCU)：MAHLE は CNG・アルコールなどの燃料に関する経験を活用して、水素エンジンの開発を支援しています。

About MAHLE（本社：ドイツ／日本支社：東京都豊島区）

MAHLE（マーレ）は、今日のグローバルな自動車業界において、乗用車と商用車両分野の開発パートナーおよびサプライヤーです。1920 年に設立されたマーレグループは、電動化と熱管理の戦略的分野に焦点を当て、将来の「Climate Neutral」なモビリティの実現に取り組んでいます。また、燃料電池や水素などの再生可能な燃料で稼働するクリーンな燃焼エンジンなど、炭素排出量をさらに高効率に削減するための技術にも焦点を当てています。

現在、世界中の 2 台に 1 台がマーレのコンポーネントを搭載しています。マーレは世界中約 68,000 名の従業員を 135 の生産拠点や 11 のテクノロジーセンターに配置し、28 か国に拠点を置いています。また、2024 年には約 117 億ユーロの売上を計上しました。

日本においてマーレは、幅広い専門知識を活用しながら今日まで 50 年以上事業を継続して参りました。またアジア太平洋地域の本社機能を担うことで、日系大手自動車メーカーの国内外すべてのビジネスをサポートしています。現在、日本のマーレグループは国内 17 拠点に約 2,600 名の従業員を擁しています。

マーレジャパン公式サイト：<https://www.jp.mahle.com/ja/#weshapefuturemobility>